

## 補正論文数の利用例 : 客員教員の研究力評価

2016年10月21日 平成28年度第2回IR実務担当者連絡会@鳥取大学

インスティテューショナル・リサーチ室  
山本 鉦

## <背景>

ある教員から人事課への相談事.

海外の大学のA先生を半年間、客員教員（教授）として招聘したい。  
待遇面を考慮するに際し、研究力が分かれば教えて欲しい。



- A先生の基礎情報 -
  - 年齢層 : 40代前半
  - 職位 : 教授
  - 研究業績 : 3年間に発表した論文数は106本



論文数で判断すれば良い??  
他の判断材料がないだろうか?

相談

判断材料の一つとして、以下を提案.

A先生を本学の教員と仮定し、任意期間の論文発表数を正規化、補正



でも、正規化や補正って??



マンパワーを活用した手法で・

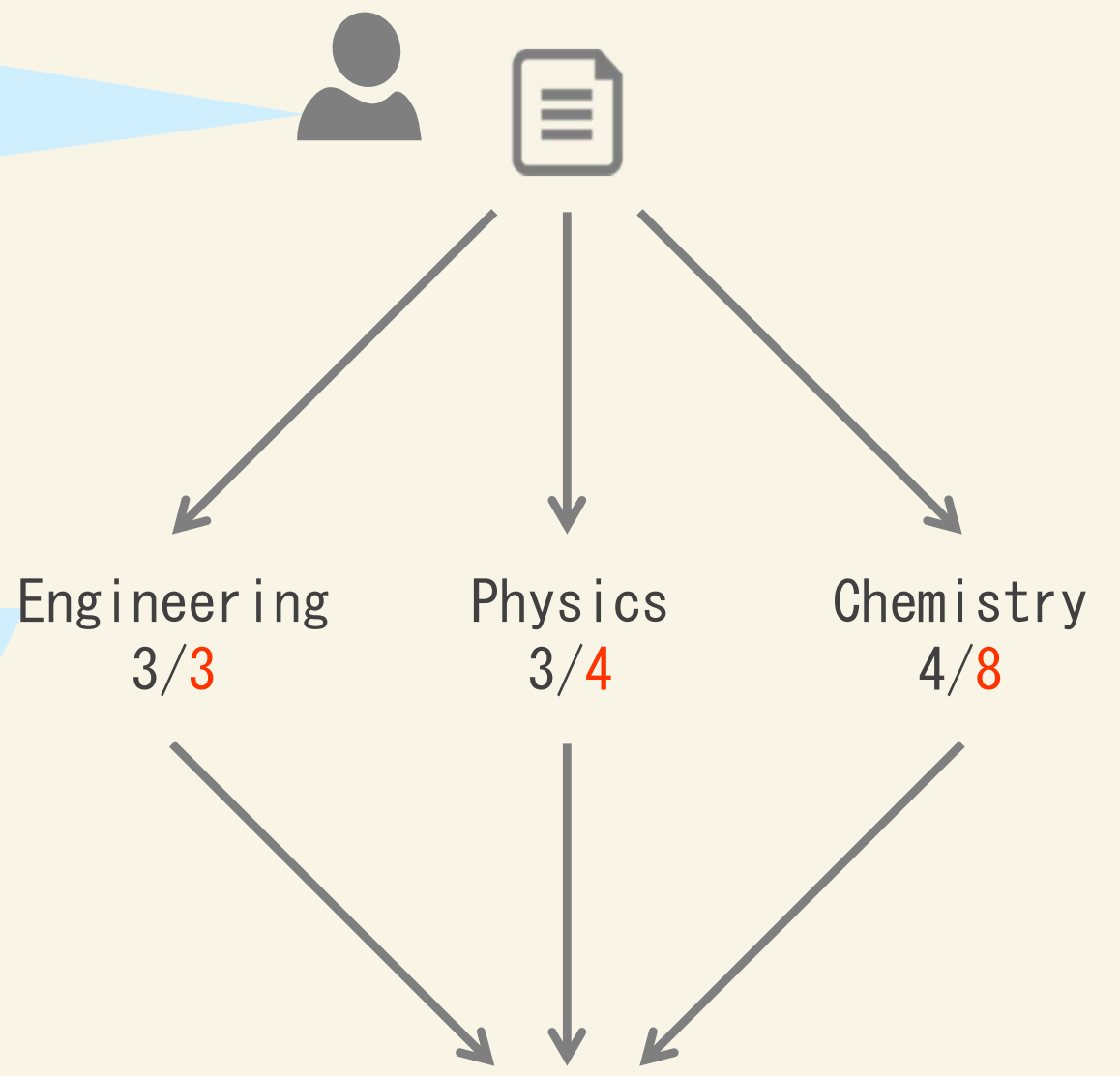
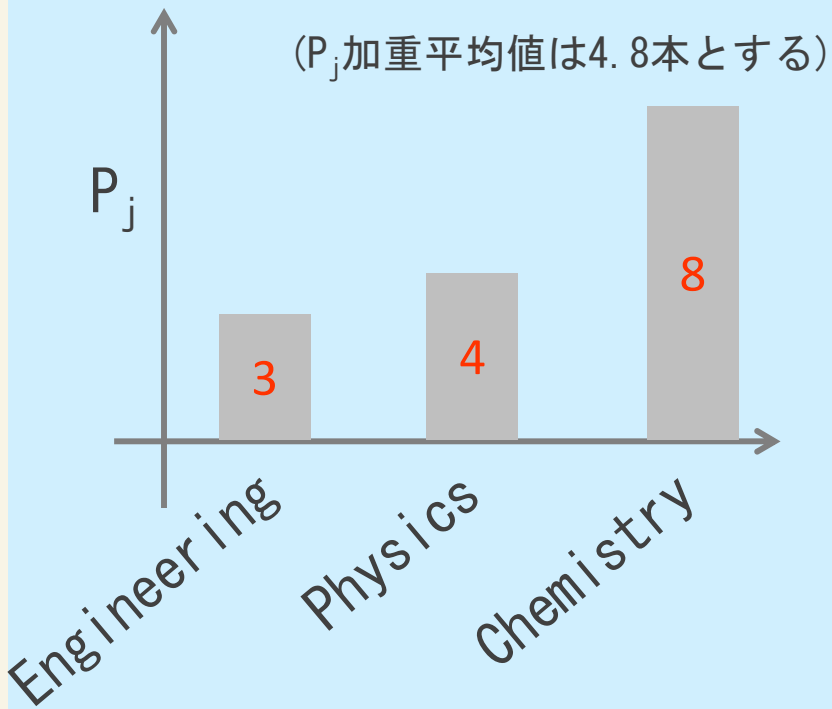
# <例：論文数の正規化，補正>

ある教員が発表した論文

Engineering : 3本  
Physics : 3本  
Chemistry : 4本

-----  
合計 : 10本

研究分野毎の論文の出易さ ( $P_j$ )



正規化論文数 =  $3/3 + 3/4 + 4/8 = 2.25$   
補正論文数 =  $2.25 \times P_j$ 加重平均値 = 10.8本

## < A先生の研究力を評価するまでの流れ >



内容は何となくわかった

- ・ A先生の学術文献データベース（WoS）に収録されている論文を検索
- ・ 収録論文の共著者情報や引用情報を取得



- ① 共著者情報を基に，論文毎の学内共著者数を求め，実論文数を計算  
ex. K. Yamamoto (Kyutech), M. Ishikawa (Kyutech) となっていれば，実論文数は1/2本.
- ② 本学の論文にA先生の論文を加え，正規化論文数や補正論文数を計算
- ③ ②を基にtop10%論文数も再計算
- ④ 一定期間の平均被引用数が1となるように正規化された指標(CNCI)も活用

# <評価結果：九州工業大学内での順位を基にすると>

【補正前】

論文数順位 : 1位



【補正後】

論文数順位 : 11位

top10%論文数順位 : 49位

(CNCI順位 : 32位)



総合的な研究力が類似した、  
本学の教員を参考にしては？

